

●NTTデータ●

## 「FairCast™-子ども安全連絡網」の活用により学校・地域の子どもの安全を確保

### 子どもの安全と保護者の安心をシステムでサポート

NTTデータが提供する「FairCast-子ども安全連絡網」は、ITの力で正確な情報を関係者へ迅速かつ公平に伝達することを目的としており、子どもたちの安全と保護者の安心をサポートする「新しい時代のセーフティウェア」である。

無防備な子どもへの危害をはじめ、連れ去りや連れ回し、学校への不審者の侵入などが、子どもたちのみならず、社会を脅かす大きな問題となっている。学校や子どもたちを取り巻く危機は、こうした犯罪だけでなく自然災害や事故なども含め、多様化しており、緊急事態発生時や警戒が必要な時には、まず何よりも、関係者へ正確な情報（第一報情報）を速やかに伝達し、素早い対応や適切な対処を行うことが必要である。

子ども安全連絡網は、不在などで情報が全員に伝わりにくい従来の電話連絡網に代わる新しい連絡網の仕組みである。メール・電話（音声）・FAXへの一斉連絡サービスなので、メールを利用していない方や携帯電話を使用していない方にも固定電話やFAXでの連絡が可能である。これに

より、正確な情報を、必要なとき、必要な人に、迅速かつ公平に伝達することで、子どもたちの安全と保護者の安心をサポートすることができる。学校での導入の場合、特別な設備や機器は必要なく、インターネットに接続されたPCのみでシステム導入が可能であり、操作も容易である。

### 緊急連絡には、第2・第3の配信で確実な伝達を実施

FairCastは2006年7月のサービス開始以降、確実に広まりつつある。「弊社では、翌年度以降から加入するお客様が増えることを予想していましたが、実際には年度途中で加入するお客様が予想よりはるかに多く、しかもそのほとんどは口コミを介してというものでした。導入校の中には、メール一斉配信システムを導入していたが、全体の8割ぐらいしか登録できずに困っていたという学校も多数いらっしゃいます。ご利用頂いた学校の皆様から、これからの学校生活に必要な不可欠なサ



(株)NTTデータ  
ビジネスイノベーション本部  
FairCast-子ども安全連絡網  
事務局  
住田 典子氏

ービスだと大変喜んで頂いています。」  
(株)NTTデータ ビジネスイノベーション本部 FairCast-子ども安全連絡網事務局 住田典子氏)

FairCastは、すべての保護者・教職員・自治会等の方々に対して、正確・迅速・公平な一斉連絡を実施するため、通常時の連絡と緊急時の連絡の二種類を用意している。通常連絡では電話・FAX・メールの中からユーザーが指定する「最も連絡が付きやすい一か所」にメッセージを配信する。もう一つは緊急連絡の

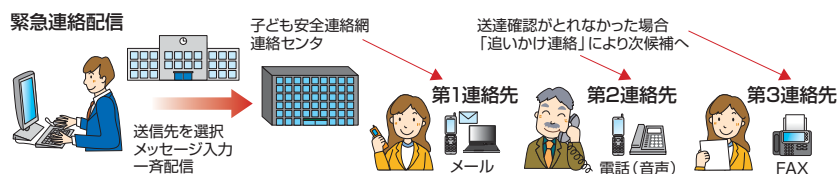


図1 緊急連絡配信の仕組み

ため、電話・FAX・メールのうち、ユーザーが順番を自由に選んで、指定された連絡先に送る、追いかけて連絡機能を用意している（図1参照）。「携帯メールを利用している保護者でも、パート先でロッカーの中に入れたままだと、実際には緊急連絡に使えない場合があるようです。」（前出 住田典子氏）このようなケースで第1連絡先から送達確認が取れなかった際にも、第2、第3の連絡先に伝達し、徹底した連絡を実施する。実際に、「移動教室の帰りの列車を急遽変更」や、「学区内で不審者が発生」といった緊急情報の配信等に活用されている。

### 教育委員会単位での導入が広がる

FairCastは、学校からだけでなく、教育委員会からも一斉連絡可能な機能を新たに追加した（図2参照）。あわせて、料金体系を通信ポイント制に変更し、システム利用料（基本料）と通信料を切り離した従量制の料金体系とすることで、連絡種別や連絡回数といった機能や利用頻度に応じて、費用分担が可能な柔軟な料金体系を実現した。

静岡県三島市では、『情報格差なく、全員に連絡が可能であり、保護者の連絡先を学校が管理しなくても済み、使いやすく確実性が高いので、子どもの安全確保には有効』という理由から、市内の全小・中学校に対してサービスを導入することとした。緊急連絡も利用したいという約半数の学校では、PTA会費で別途契約を行うなど、同市では、前出の料金体系

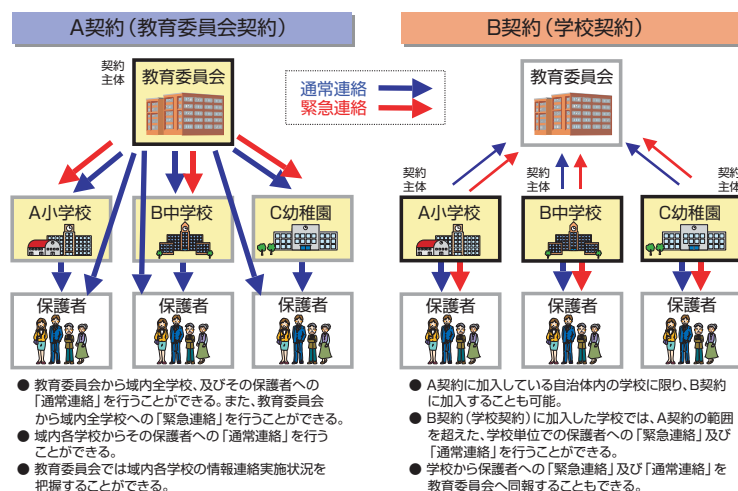


図2 教育委員会向けサービス体系

と図2のサービス体系をうまく活用して、サポート体制を実現している。

### 導入校と積極的なディスカッションを行い活用方法を検討

学校法人及び教育委員会によって、FairCastの利用が浸透していくにつれて、どういうルールで連絡したらいいのかわからない、どんな人が責任者になったらいいか、というガイドラインが求められてきた。NTTデータは、サービス開始前から培ってきた運用ノウハウを、導入校とともに広げるための検討をすることにより、導入校同士の連携を取り持っていきたいとしている。

例えば複数校の導入があった東京都豊島区では、各校で伝達する情報内容や利用方法もまちまちであった。同区内の導入校と事務局が集まりディスカッションの場を持ったことで、今まで気づかなかったアイデアや工夫が生まれた。NTTデータでは、こうした現場から出てきたアイデアを、他の学校にもフィードバックしつつ広げていきたいと考えている。

「最初は学校とNTTデータという縦の連携が多かったのですが、最近では導入校同士の輪が広がっていると感じており、ご利用頂いている皆様と一緒に作り上げている感覚がより深まってきました。今後は、さまざまな学校や教育関係者、NPOの方々などを交えて話し合っていく中で、サービスを通じてNTTグループとしてお役に立てることはないか検討を続けていきたいと思っています。さらに、学校と保護者だけでなく、対象を行政に広げ、一人暮らしのお年寄りや情報弱者の方などにも配信できるユニバーサルなサービスを訴求していきます。」（前出 住田典子氏）

#### お問い合わせ先

(株)NTTデータ  
 ビジネスイノベーション本部  
 FairCast-子ども安全連絡網  
 事務局  
 TEL：050-5546-9118  
 オフィシャルサイト  
 URL：http://www.faircast.jp/  
 事務局ブログ  
 URL：http://www.voluntary/weblog/myblog/261